

令和5年度 第4回京丹後市スポーツ推進審議会会議録

- 1 開催日時 令和5年11月20日(月) 19時00分～20時00分
- 2 開催場所 京丹後市大宮庁舎4階 第2,3会議室
- 3 出席者 小谷順一委員(会長)、小石原正志委員、田崎仁志委員、吉岡美乃里委員、川口勝彦委員、安井國士委員、谷口正郎委員、杉本智委員、藤原英一委員
欠席者 板倉俊明委員、足立俊治委員、小森直子委員
事務局 教育長 松本明彦
教育次長 引野雅文
生涯学習課 安達純、蒲田真穂、下戸裕子
- 4 議題及び会議の公開又は非公開の別 【公開】
- 5 傍聴人の数 なし
- 6 発言等の内容(要旨)
 - 1 開会
 - 2 あいさつ

<事務局>

定刻になりましたので、審議会を始めます。本日は大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今回で第4回目になります。

本日、欠席の連絡をいただいている委員がいらっしゃいます。板倉委員様、足立委員様、小森委員様から欠席の連絡をいただいています。

最初に会議の成立につきまして、事務局よりご報告させていただきます。京丹後市スポーツ推進審議会条例第5条によりまして、本審議会の会議の開催につきましては、委員の過半数の出席が必要でございます。本日、委員12名中の9名のご出席がございますので、会議が成立しますことをご報告させていただきます。

それでは開会にあたり、小谷会長からご挨拶をいただきます。よろしく願いいたします。

<小谷会長>

こんばんは。推進審議会も今日で4回目です。3回目まで皆さんから貴重な意見をいただき、それを推進計画案に反映しています。皆さんのご意見が、地域の皆さんのスポーツ

に活かされると信じています。

審議会で意見を出して、検討したことは、次の計画の策定時にも良い結果が出ていると思います。今日も意見を出していただき、改善する個所は改善していきたいと思います。

<事務局>

ありがとうございました。それでは続きまして松本教育長がご挨拶申し上げます。

<松本教育長>

皆さん、こんばんは。第4回京丹後市スポーツ推進審議会を開催しましたところ、お忙しい中、またお疲れのところ、委員の皆様にご出席いただき本当にありがとうございます。

さきほど、小谷会長からもありましたようにいよいよこの審議会につきましたの、スポーツ推進計画の見直しの最終的な段階に来ております。本日は、さらに細かく多くの目を見ていただき、いろいろなご意見をいただき最終まとめていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

学校の先生方におかれましては、2学期が残り1か月というご多忙な中、ご出席いただきありがとうございます。学校現場では、インフルエンザが流行っておりまして、ある小学校では120人中、休み明けに30人以上が休んでいるという事態です。非常に感染力が強く、気を付けていかねばならないと思っていますところでは。

また、土曜日には、丹後大学駅伝がコースも新たに開催され、多くの方に観戦いただきました。私もゴール地点のはごろも陸上競技場で応援しましたが、陸上競技場の外周を1周してトラックに入っていくところは見どころでした。子供たちにとっても社会人の皆様にとっても、こうしたホンモノに触れる機会は大切です。京丹後市のスポーツ振興を図るためにも審議会で忌憚のないご意見をいただき見直し案をまとめていきたいと思っています。

<事務局>

それでは議事に入りますが、以降の議事につきましては、小谷会長に進行いただきます。

なお、本日の審議会の内容は、議事録を作成します。まずは、その議事録署名人の選出をしたいと思います。小谷会長、宜しくお願いします。

<小谷会長>

失礼します。それでは、まず議事録署名人を選出したいと思います。議事録署名人には谷口委員にお世話になりたいと思います。谷口委員さん、よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきたいと思っています。

次第3. 協議事項につきまして、事務局の方から説明をお願いします。

最初に（1）第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについての①計画の見直しについて、説明をお願いします。

<事務局>

～～説明～～

<小谷会長>

ただいまの説明についてご質問、ご意見はありませんか。

<委員>

資料の37ページ。連携イメージの図の中の推進本部というのは、教育委員会と市とみてよろしいでしょうか。

<事務局>

はい。市と教育委員会です。

<委員>

文言整理で確認します。資料の2ページですが、令和6年から国民体育大会が、国民スポーツ大会に変わるので、この文言を変えたほうが良いと思います。

また、23ページ、④「スポーツ観光のまちづくり」の<評価>の2行目が改行されています。

<事務局>

ご指摘ありがとうございます。修正します。

<委員>

資料3の「スポーツ観光事業に係る活動状況」には、市外から参加がある大会が対象となつています。久美浜湾一周駅伝が入っていますが、今年は、市外からチームを呼ばないと聞いています。違いましたか？

<事務局>

要項でも、市内に限るとは記載しておりませんし、市外からの参加チームも応募されています。昨年度は、コロナ禍の開催のため募集を市内に限りしました。

<委員>

市のホームページで公開されている要項が正しいので、要項を見れば、市内限定の募集ではないですね。昨年度の要項と混同されているかもしれませんね。

<小谷会長>

他にご意見はありませんか。

<委員>

何点か質問や意見を述べます。

まず1点目。資料34ページの「スポーツイベント参加者数」の令和9年度の目標数値が2万人となっています。近年、各団体やスポーツ団体、協会も含めて構成員が減っています。人口も減っている中、この2万人という目標数値は非現実的ではないでしょうか。

2点目です。

資料37ページの連携イメージ図ですが、京丹後市スポーツ推進審議会がほかの関係団体と連携するよう見えます。審議会は、42ページの条例にあるように、教育委員会の諮問に応じスポーツの推進に関する事項について調査及び審議する組織です。事業を推進する団体ではないと思います。

3点目です。

推進本部についてです。40ページに設置規程が掲載されています。この本部は全庁的な動きをするとありながら、規定の第3条組織には上下水道部や農林水産部がありません。それでよいのかなと思ってお聞きします。

<事務局>

まず、1点目です。

確かにハードルが高いかもしれません。市の総合計画でこの数値を挙げています。今後スポーツイベントを盛んにしていくということからもこの数値を目標として採用しました。

2点目の審議会の位置です。

確かに、このイメージ図では、審議会を通して推進していくという感じに見えます。審議会は、審議や意見をいただく組織なのでイメージ図を修正します。

3点目です。

推進本部です。設置規程には農林水産部と上下水道部が入っていません。この部局は直接的にスポーツ施策に関わっていないということで構成員に入っていないと考えられます。

来年度からこども部という新しい部ができますので、そういったあたりも含めて見直す必要があるかと思いますが、現行の設置規程ということで掲載しています。

<教育長>

スポーツイベントの参加者数の目標については、ワールドマスターズゲームズが令和9

年にあります。そこを一番盛り上げようという思いもあります。

<委員>

スポーツイベント参加者の令和9年の目標数値2万人の根拠を、ワールドマスターズゲームズの開催に合わせているということであれば、そういう説明をしてもらったらわかりやすい。マスターズで1万人増えるということもわかりますが、積み上げの数字ということであれば、ちょっと難しいと思います。現実的な数値をあげたほうが良いと思います。推進本部の設置規程は検討されるということですし、37ページのイメージ図については誰が見てもわかる図にしていきたい。

この図の中で、気になるのは、関係団体に高齢者団体がありません。文中には高齢者の運動を推進するとあるが、入っていないのはどうでしょうか。

<小谷会長>

ワールドマスターズゲームズを加味して、2万人ということも考えられますが、この計画を見てワールドマスターズゲームズの2万人が理解できるかなと懸念されます。

高齢者団体が図に入っていないことも気になることです。

また、まちづくり推進本部についても検討してもらおうということでもよろしくお願ひします。

<委員>

先ほどの委員のご意見に高齢者団体を入れるとありましたが、あえて高齢者団体を明記する必要はないと思います。総合型スポーツクラブにも高齢者は含まれています。この図の中に高齢者を明記すべきかどうかこの審議会で審議してください。

<委員>

本文に「高齢者団体との連携」とありますので、老人会、シルバー人材センターなどの高齢者団体を図に入れたほうがより良いイメージ図になると思います。

<小谷会長>

検討するということがよろしいでしょうか。

他にご意見はありますか。

<委員>

目標数値の2万人のことですが、前回の会議で、補助金は交付受けていませんが、協賛や後援をいただきながらやっている数字は、今の根拠数字には含まれていません。しかし、実績報告で青少年スポーツ協会が実施している数字は読めます。これにワールドマス

ターズゲームズの数字を足したら2万人に到達するのか、まったく届かないのか。青少年スポーツ協会には、数字を出すように指示を出したので、ぜひ数字を読んでもほしいと思っています。

<小谷会長>

推進計画の冊子は、市民全員に配付しますか？

改訂版はどういった団体に配付するのですか？

<事務局>

現在、200部作製する予定です。スポーツに関連する団体に配付する予定です。またホームページにて公開します。

冊子にするまえに、パブリックコメントを実施します。

<委員>

京丹後市に他府県から入ってきている最も多いのはサーファーです。平日休日問わずかなりの人数が他府県から入っています。ただ、ここでは、カウントできない数字です。

海は、京丹後市の大きな魅力です。京都府には、京丹後市しかサーフィンを楽しめるような海はありません。

サーファーは市の施設を利用していますし、市にもお金を落としています。この数字を拾えたらいいなと思います。

<教育長>

先日、八丁浜を通ると多くのサーファーが海でサーフィンをしていました。若い人よりもリタイアした年代の方が多くて驚きました。

<委員>

以前、市内でサーフィンの大会があったように思いますが。

<事務局>

現在、行政が主催するサーフィンの大会はないですね。

<委員>

お聞きします。そのサーファーの人数を読むことはできないでしょうか。イベントがあるとか。

<委員>

大会自体はあまり開催していません。日常的に波乗りを楽しんでいらっしゃいます。市の施設（水道、駐車場）を利用しながらサーフィンをしています。

<委員>

行政のなんらかのシステムを使って人数をカウントできる方法はないでしょうか。

<委員>

市内にはサーフィン会場が5か所あります。そこには駐車場が付随しています。海水浴場の駐車場の料金は夏場だけ徴収していますが、全所の駐車場料金を徴収したらよいと思います。水道も自由に使っている。水道代は市税です。施設管理費として徴収したらよいと思う。

<委員>

私も全国いろいろなポイントに行きますが、滋賀県などは、コインタイプなど有料のところは多いと思います。駐車場については料金を取っているところ取っていないところ、まちまちです。三重県の方は、民間が駐車場経営をしているので、1500円くらいかかります。

<委員>

駐車場料金は徴収すべきです。施設管理費として徴収すべきです。推進審議会ではどうかかわかりませんが。

<委員>

TANTANロングライドもカウントできたらよいと思います。魚釣りなどもカウントできれば、2万人の目標数値は達成できそう。全日本ラリー丹後もカウントできたらよいですね。スポーツとしてとらえるかどうかもありますが、議論する必要があるのではないかと考えます。

<小谷会長>

スポーツには、金と人は必要です。私はスポーツ協会に所属していますが、競技団体には、ボランティアに動員されることが負担なので協会に入らないという人もいます。丹後のスポーツ振興を考えたら、地域全体でボランティア精神で心地よいスポーツ環境を作ることが大切だと思います。個人の勝手な思いでスポーツをするのではなく、皆で協力して楽しく地域を発展させることが重要です。

この推進計画が様々なところに活かされることを願います。

<委員>

最後に意見を述べます。この審議会が、今後は推進計画の進捗状況を評価分析することになりますが、そのためには、令和9年度までの実施計画がないと評価が難しいと思います。ぜひとも実施計画を作っていただきたい。

<小谷会長>

ほかにご意見がないようでしたら、事務局に進行を返します。

<事務局>

協議は終了しました。本日いただいた意見は、修正していただき、また皆さんにみていただけるようにします。

<事務局>

今後のスケジュールについて説明します。本日のご意見を基に修正しまして、皆さんに最終確認をいただきます。その後、教育委員会に報告し、答申をしていただきます。議会へ報告する必要があります。議会報告後、市民に対してパブリックコメントを実施します。すべて確定した状態で、教育委員会定例会へ上程します。最終的には、3月に見直し計画が決定されるというスケジュールです。

<事務局>

閉会へ移ります。本日は副会長が欠席ですので、会長に閉会の挨拶をお願いします。

<小谷会長>

短いようで長い審議会でした。多くの意見をいただき意義ある会議でした。皆さまのご協力ありがとうございました。